

学校名	山研小学校		
ホームページURL	児童・生徒数 95 名		
(1) テーマ 「山形の恵み、歴史、暮らし」 「山形の歴史を探る」 テーマの分類() 下記の欄外記載事項を参照してください。	(2) 活動の単位に をつけてください 学級・同一学年・3～4年 5～6年・学校・ その他() 該当学年 6年 (回答可能な場合)		
(3) 活動のねらい 学習で期待できるつける力 課題を見つけ自己決定できる。 多くの人と関わりながら学ぶことができる。 自ら進んで行動したり、活動したりすることができる。 情報を集めることができる。 友達の追究の良さにふれることができる。 自分を見つめ、自分を表現することができる。 自分から考え創造することができる。 最後までやりとげることができる。			
(4) 活動の実際(活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等) 自分たちの地域の歴史を個人個人で課題を持って追究をしていく。実際に土器、石器を拾ってきたり、拾ってこられない物については、写真やデジタルカメラを使って実物が友達にわかるようにする。地域の歴史を探し、聞き取り調査や文献で調べる等で課題を解決していく。今回はコンピュータの学習も同時に計画し、最後にコンピュータソフトにまとめ、同じ学年の友達や異学年の友達に発信し、メールの交換で情報を広めた。 時数(15)			
(5) 指導体制(校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等) 特に地域から講師をお呼びして学習に積極的に関わっていただくことは組み込まなかったが行った先々で親切にえていただき、子どもたちは「こんなこと教えてもらったよー。」とうれしそうであった。			
(6) 指導上の留意点(時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等) 6年の歴史の学習と重なる部分が多かったが、社会の時間とは違って自分の課題に向けての取り組みだったので一人一人が楽しんでできた。地域から情報を集めなくてはならなかったが家庭訪問の午後の時間や休みの日を使って子どもたちが主体的に取り組んだ。情報交換、まとめの時間は「総合的な学習の時間」を使って行った。			
(7) 評価(基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際) まだ、評価については基本的に学校としてどうしていくか話し合われていないが、子どもの姿を 自己建設 自己肯定観 共感 世界観の4点で子どもの育ちを追っている。まずは一人一人の子どもがその学習の中でどのような取り組みをしていたか、教師が見とることだと思う。			
(8) 成果と課題 山研村は土器、石器、道祖神、石碑、神社仏閣、歴史的な人物に恵まれている地域で、それを一人一人がとらえ、自分なり学習を展開できた。コンピュータの学習経験がほとんどない子どもたちであったが自分で調べたことをコンピュータソフトにまとめることで無理なく学習できたことは良かった。が、逆に発信方法を狭めてしまったことが課題としてあげられる。子どもによっては追究を深められない子どももいた。追究を深めるにわどうしたらよいのか課題として残った。			

テーマの分類 横断的・総合的な課題(-ア 国際理解 -イ 情報 -ウ 環境 -エ 福祉・健康 -オ その他) 児童生徒の興味・関心に基づく課題 地域や学校の特色に応じた課題